

HOUSE

日常性を意識することができる家

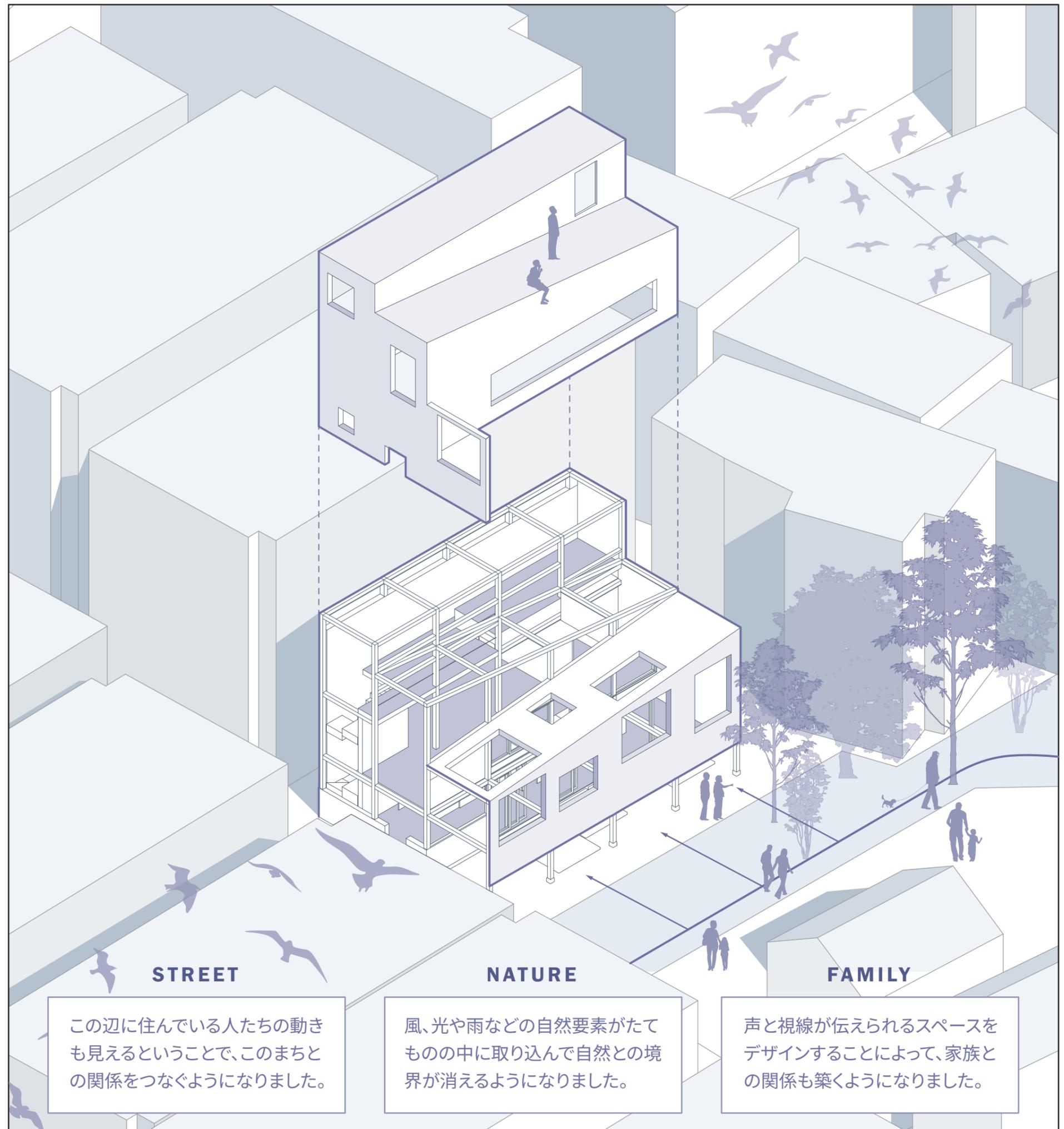
24009032

LEE

SITE DESCRIPTION

今回の敷地は春日駅から徒歩10分くらいで到着できる場所です。そして、隣に公園があるし、段差が高いので、風景もいいですから、特徴がたくさんあるところだと思います。

それに、この敷地の周りが住宅がおおいので、日常的な風景がよく見えるでしょう。日常生活という風景は私たちの人生の大半に占めますけど、それを味わう人が少ないと思います。例えば、子供たちの遊びとか、隣さんとのあいさつとか、そういう日常的な風景を意識してほしいですから、どうやってそのような風景を建築の中に取り込みますかということを考えて日常性を意識できる家を目指しました。



STREET

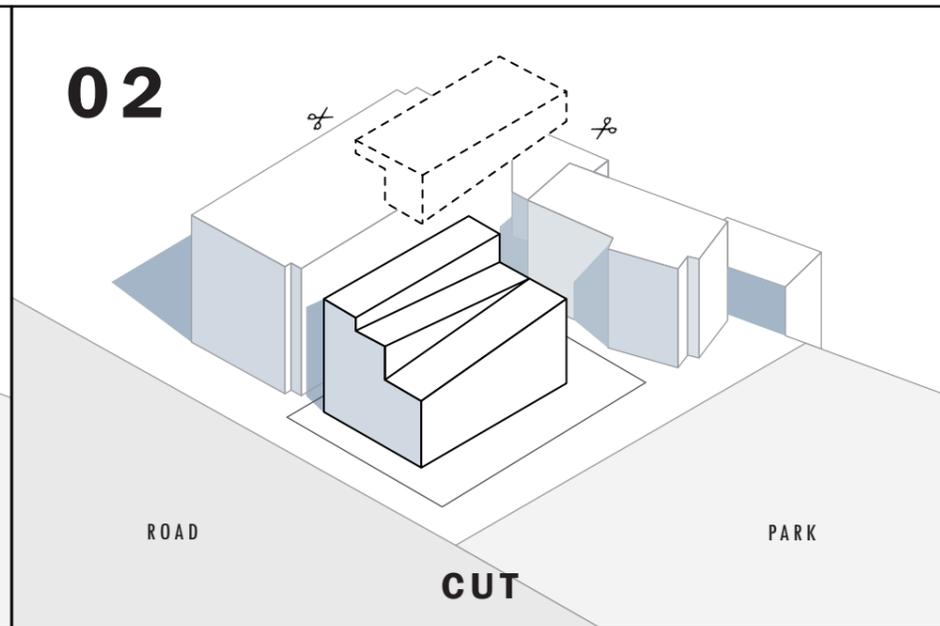
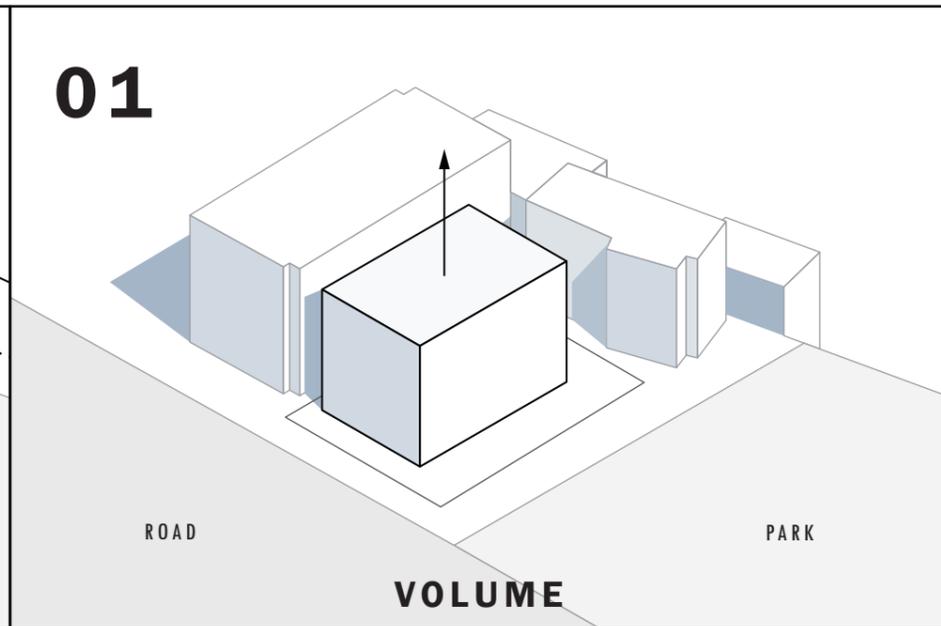
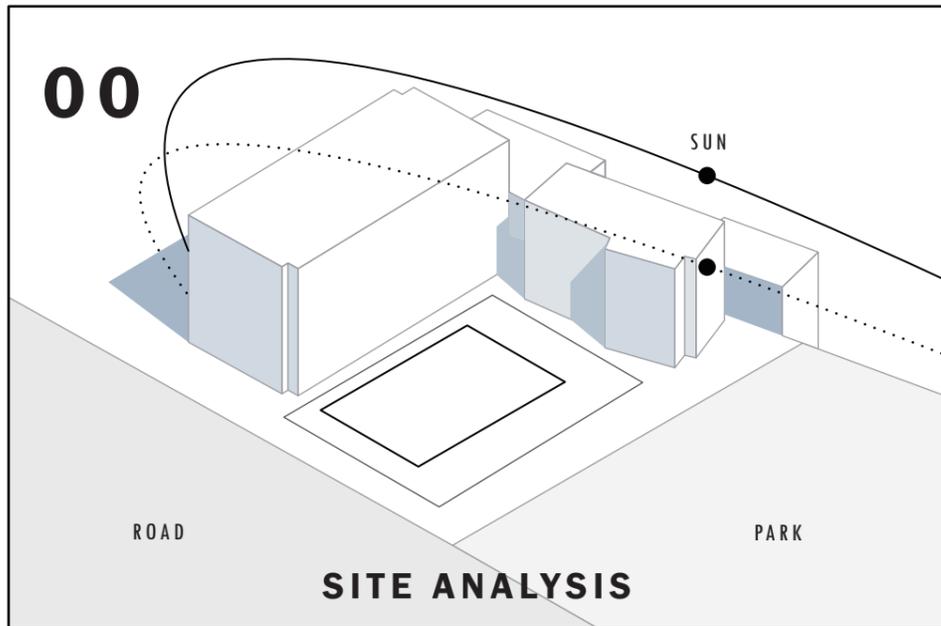
この辺に住んでいる人たちの動きも見えるということで、このまちとの関係をつなぐようになりました。

NATURE

風、光や雨などの自然要素がたてもものの中に取り込んで自然との境界が消えるようになりました。

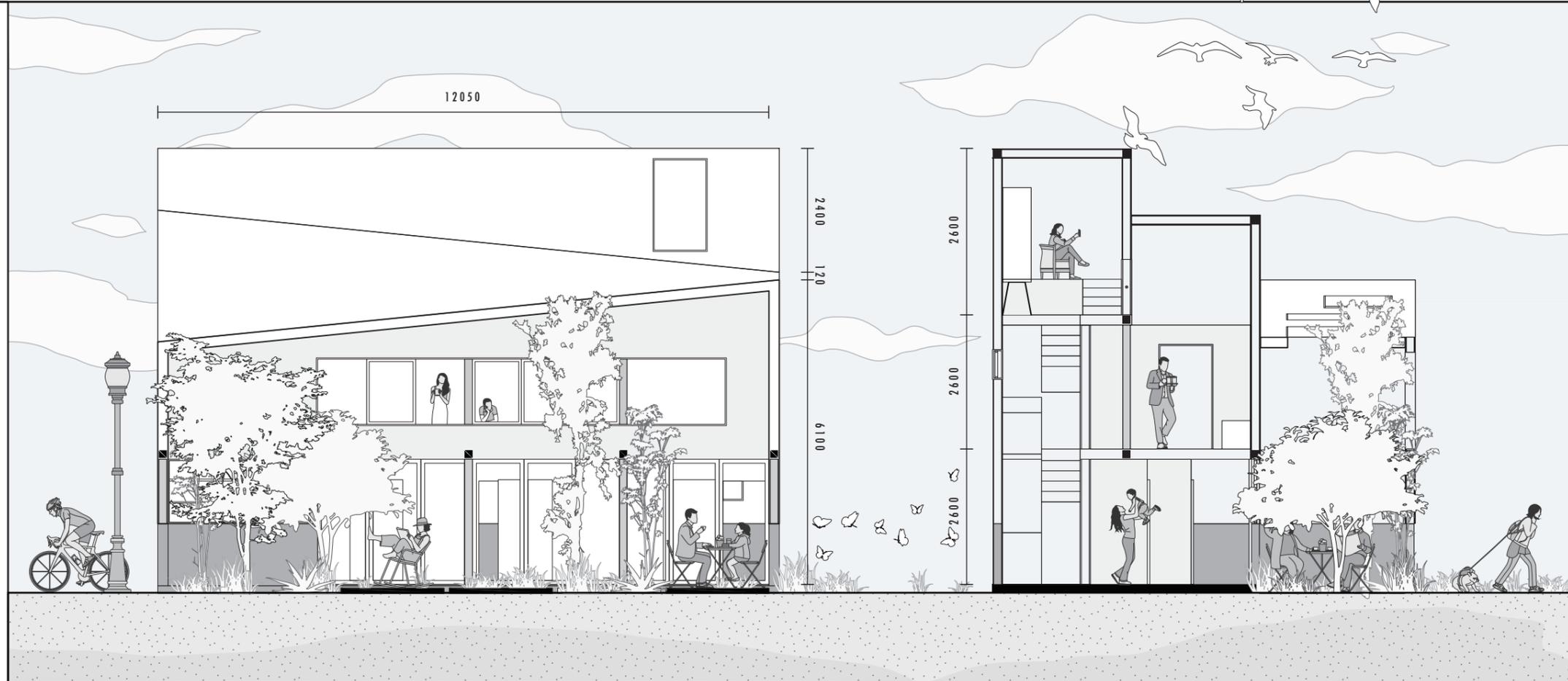
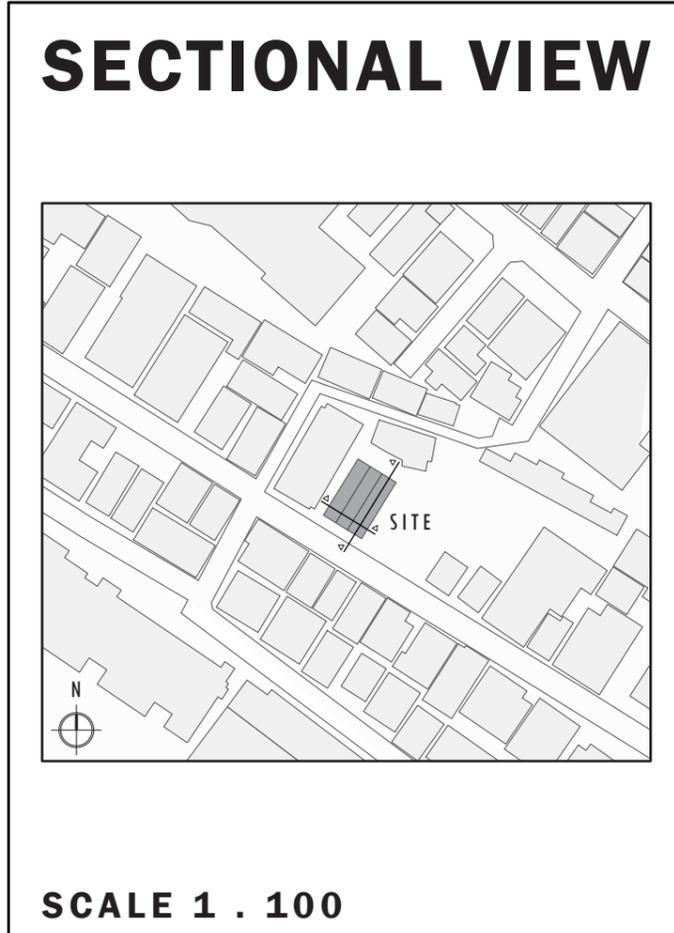
FAMILY

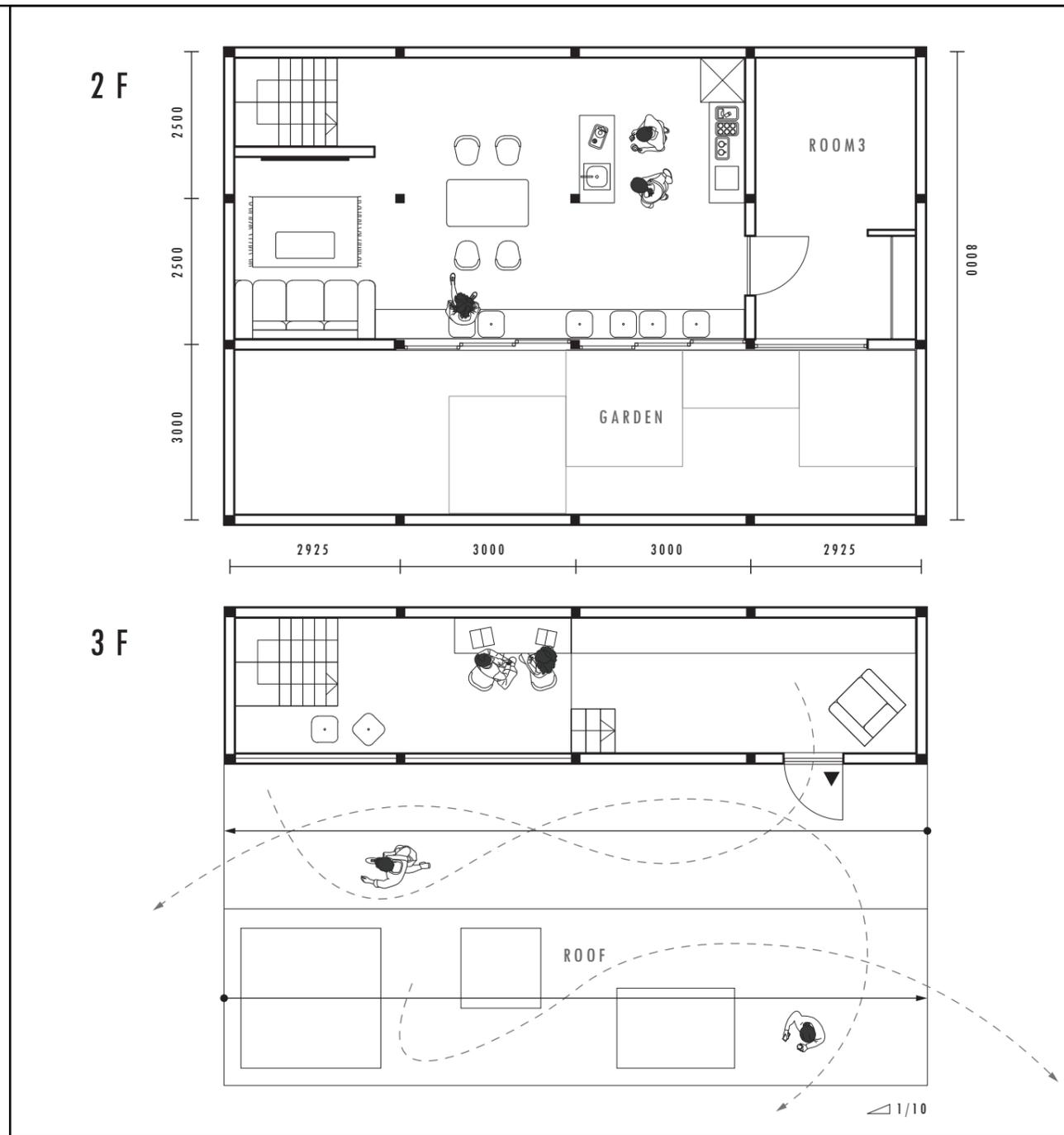
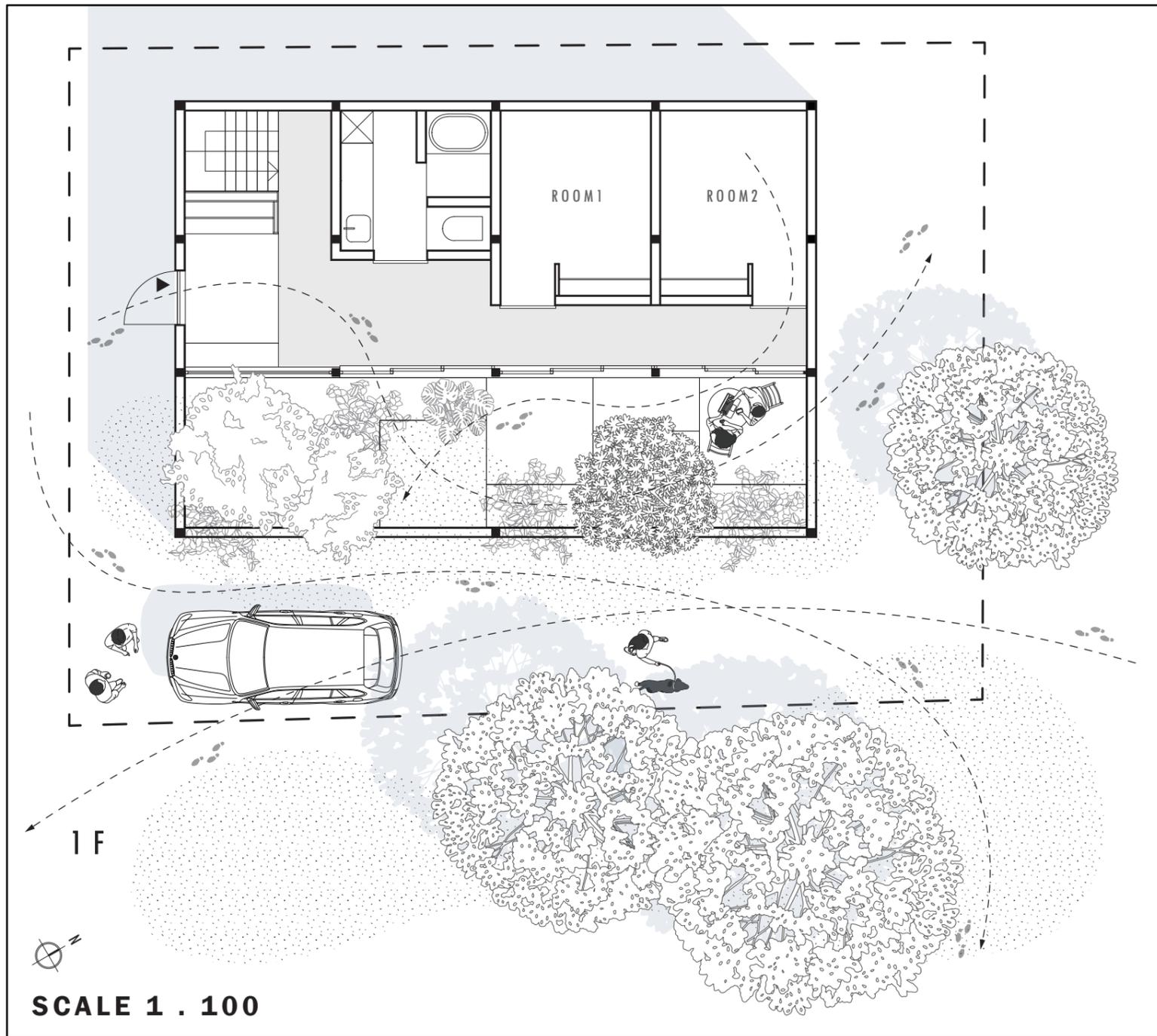
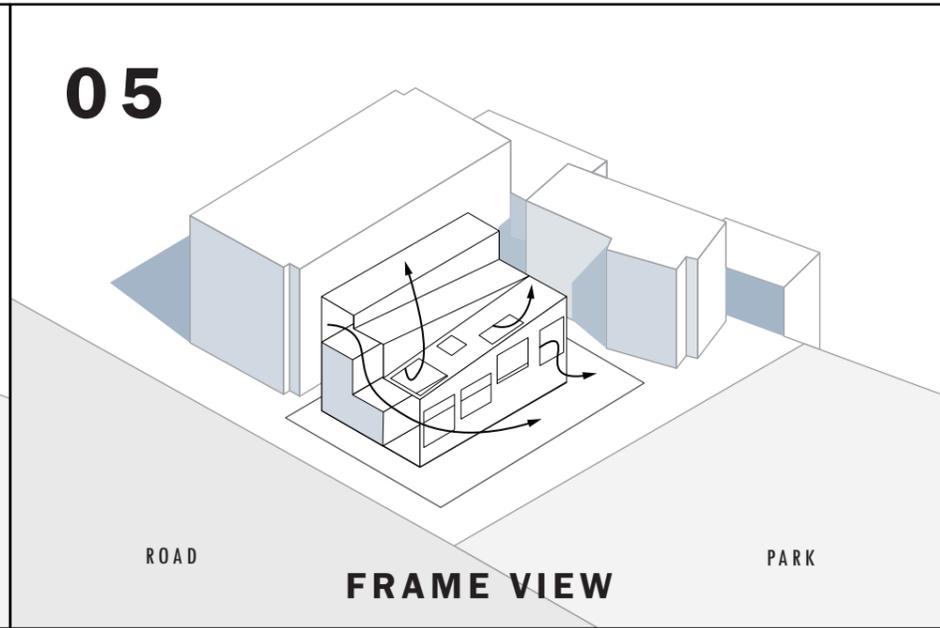
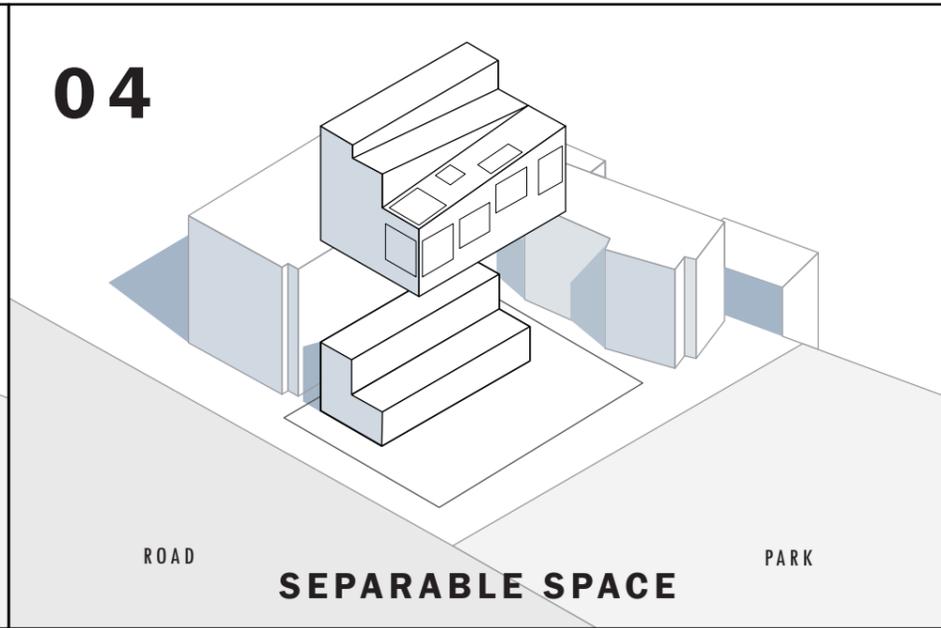
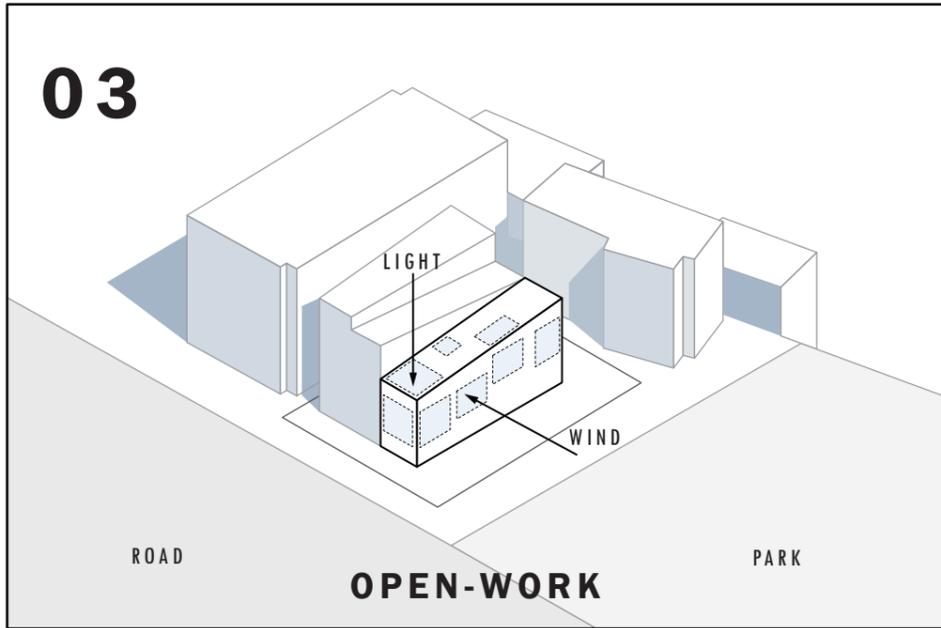
声と視線が伝えられるスペースをデザインすることによって、家族との関係も築くようになりました。



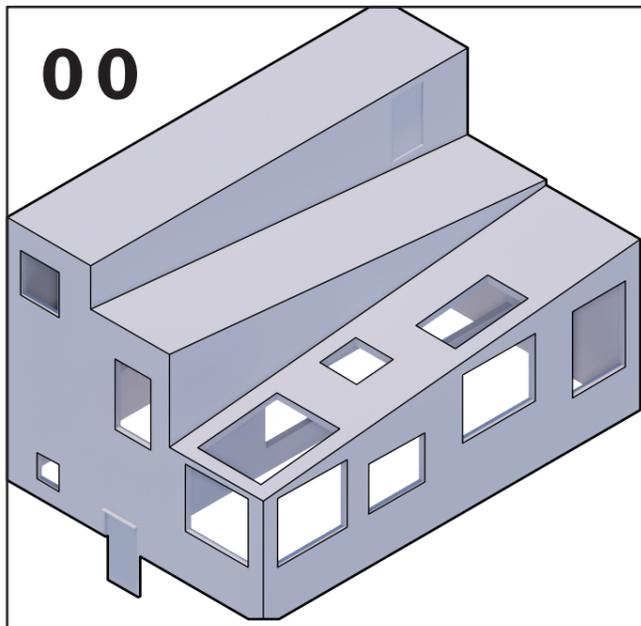
CONCEPT

今回の設計に設定した条件は建築面積が105平米、床面積が150平米にしました。この条件によってボリュームを決めてから、周りと呼応する形に作りました。この辺に段差がたかくて、坂道がおおいから、建築はそれを合わせて勾配1:10の緩くて斜めなやねをデザインしました。そこに座って周りの風景を眺めることができるようになりました。さらに、公園の側の壁と屋根が穴をあけることで、風や光などの自然と日常的な風景が建築の中に取り込んで、外との境界を消しました。最後に、建築中の空間も工夫しました。屋根と室内の空間をそれぞれ考えました。どこにも視線や声などが伝えることができるように、室内にもたくさんの窓を配置して、家族の動きを意識することができる家設計しました。

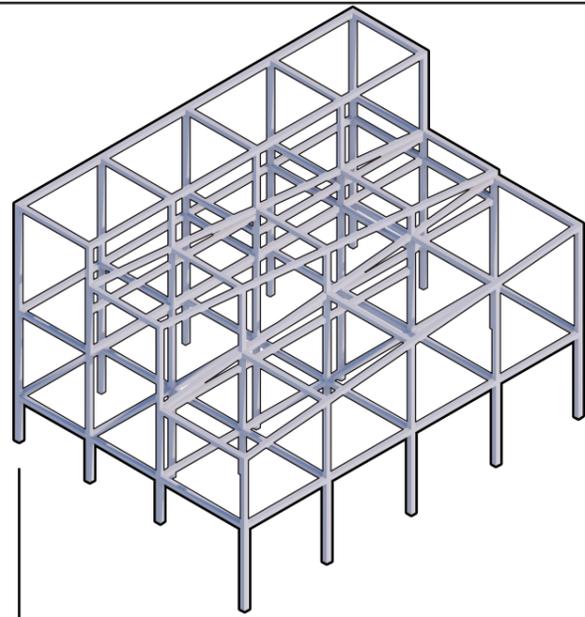




00



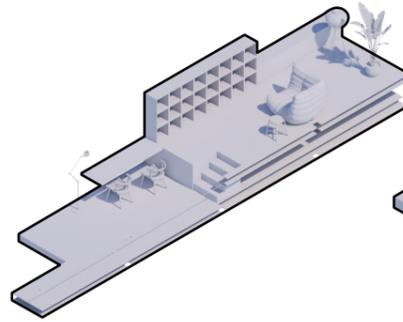
ROOF SPACE



Post-And-Beam Structures
3 X 2.5(M) / 3 X 3(M)

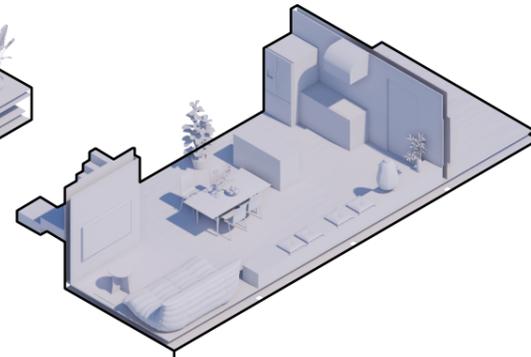
WOODEN STRUCTURE

01



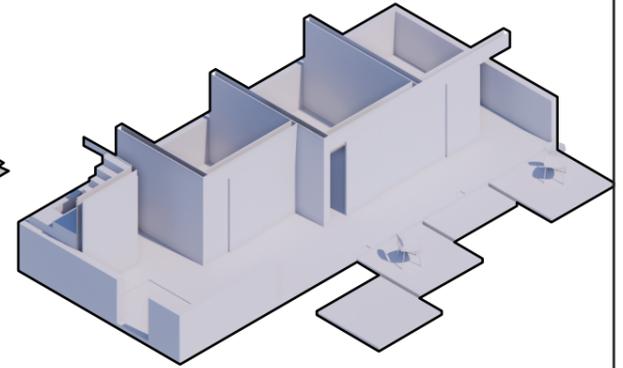
Study
Listen music

3 FLOOR



Living room
Kitchen
Dining room

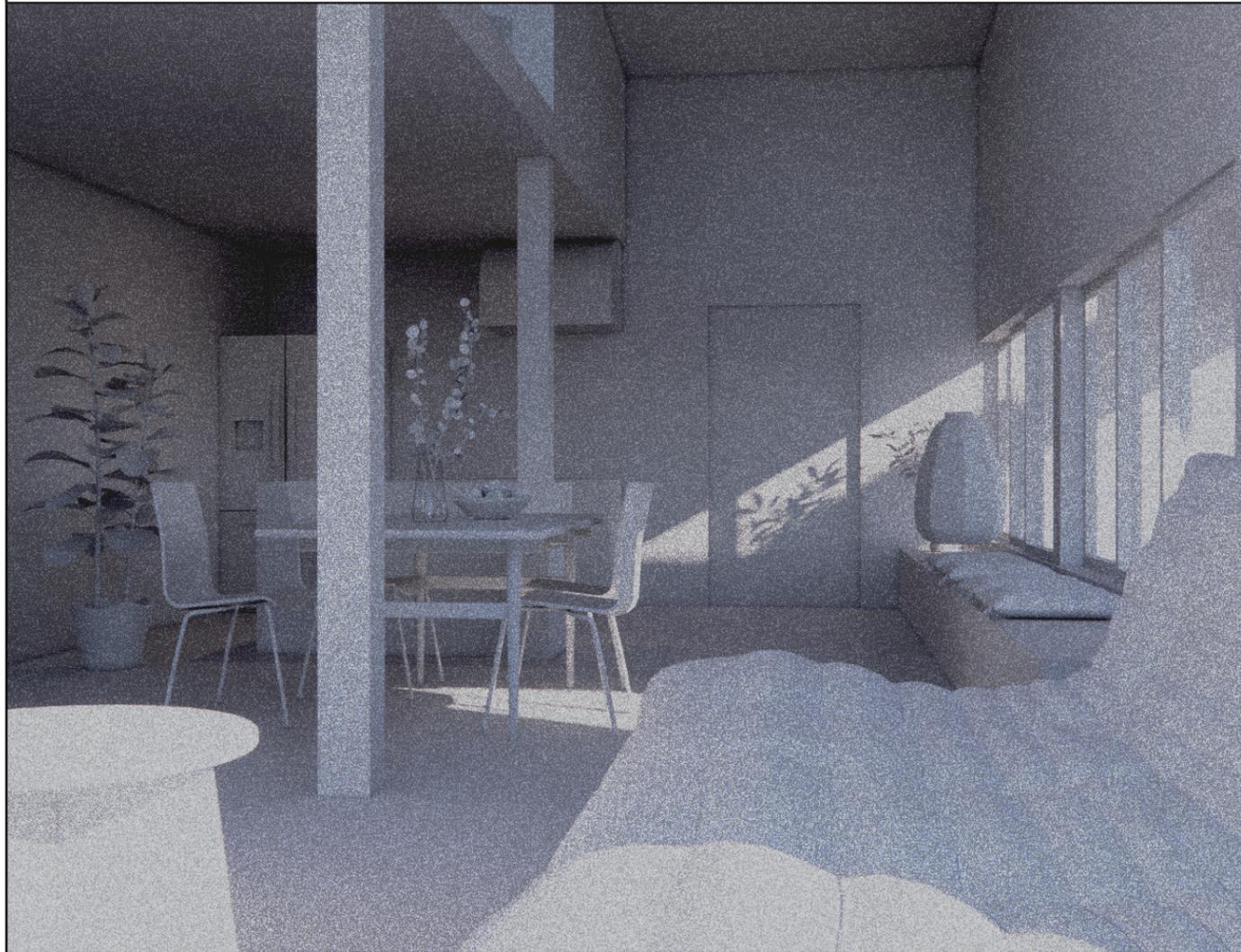
2 FLOOR



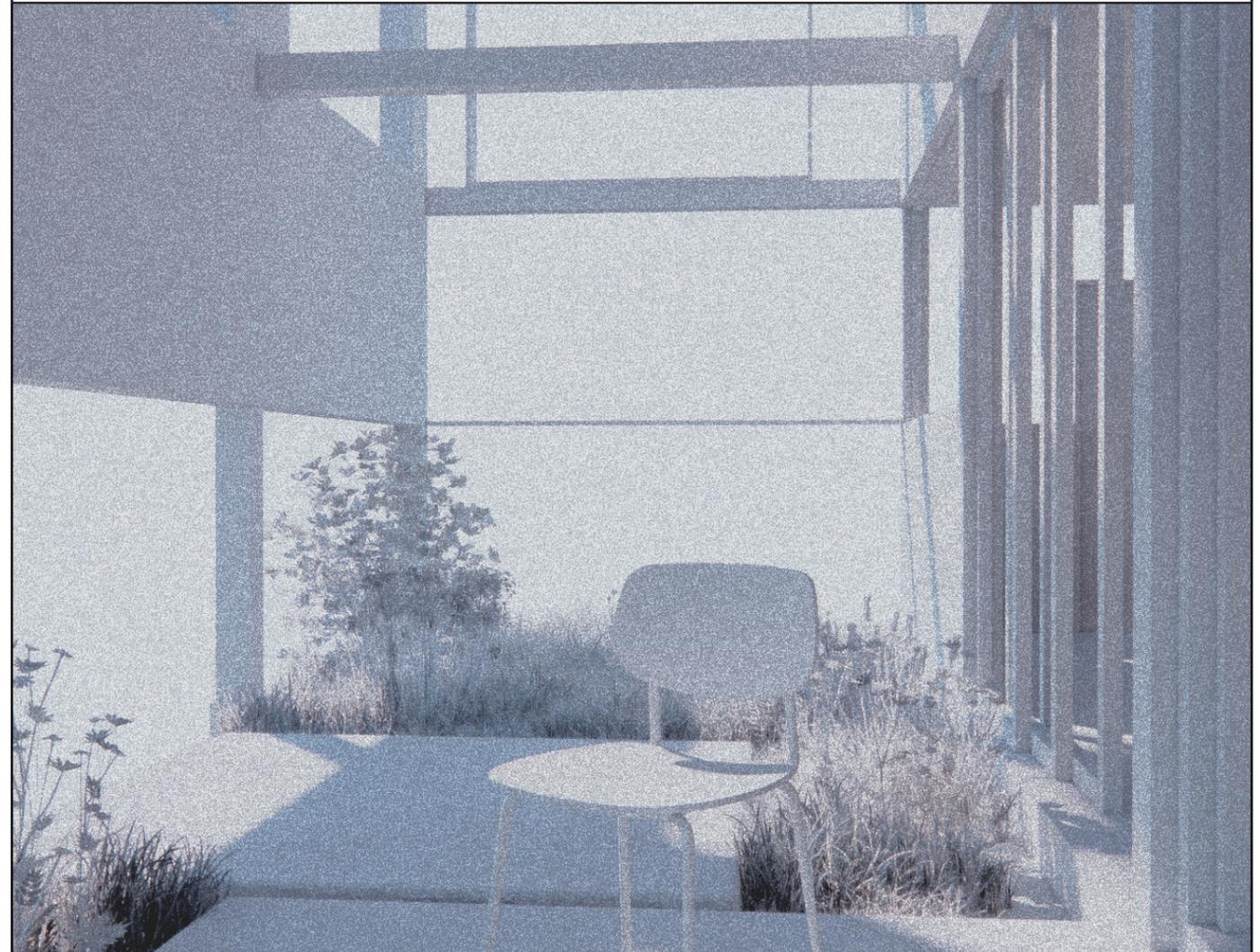
Bathroom
Toilet
Garden

1 FLOOR

03 LIVING ROOM



04 GARDEN



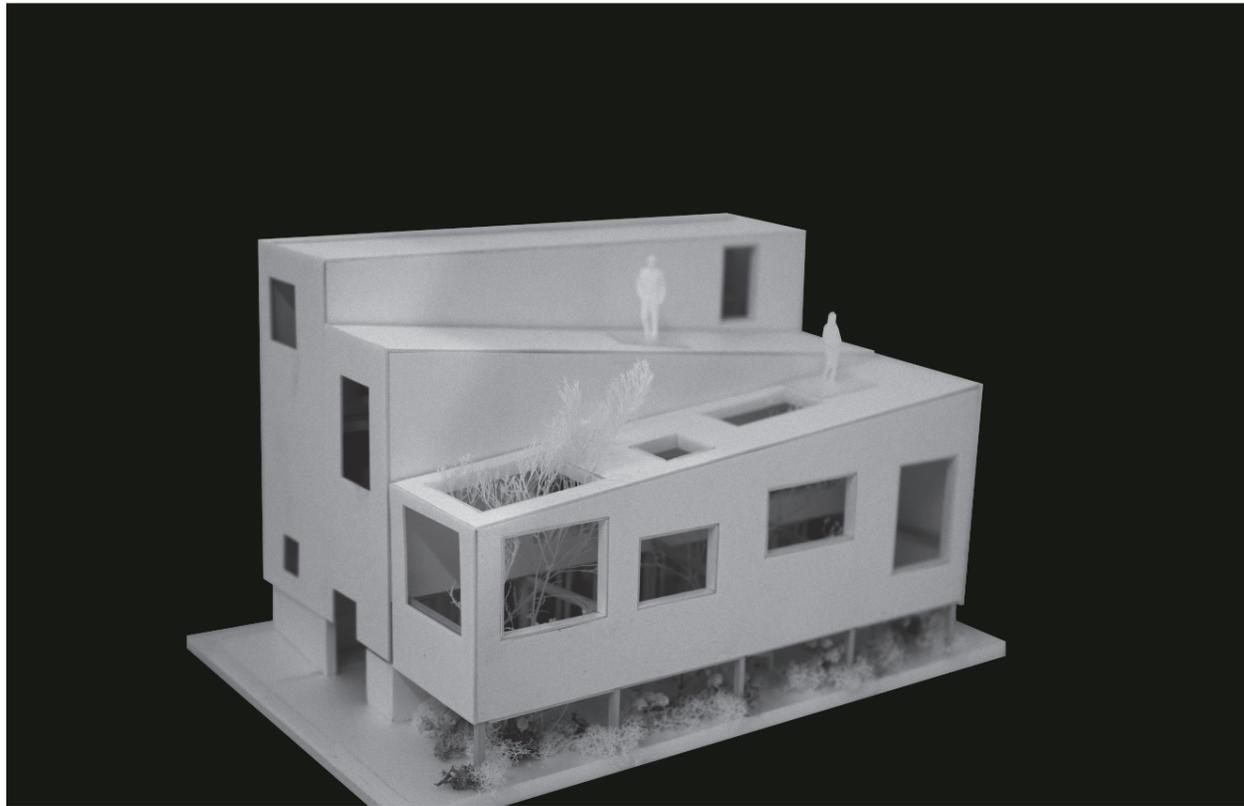


PHOTO 01

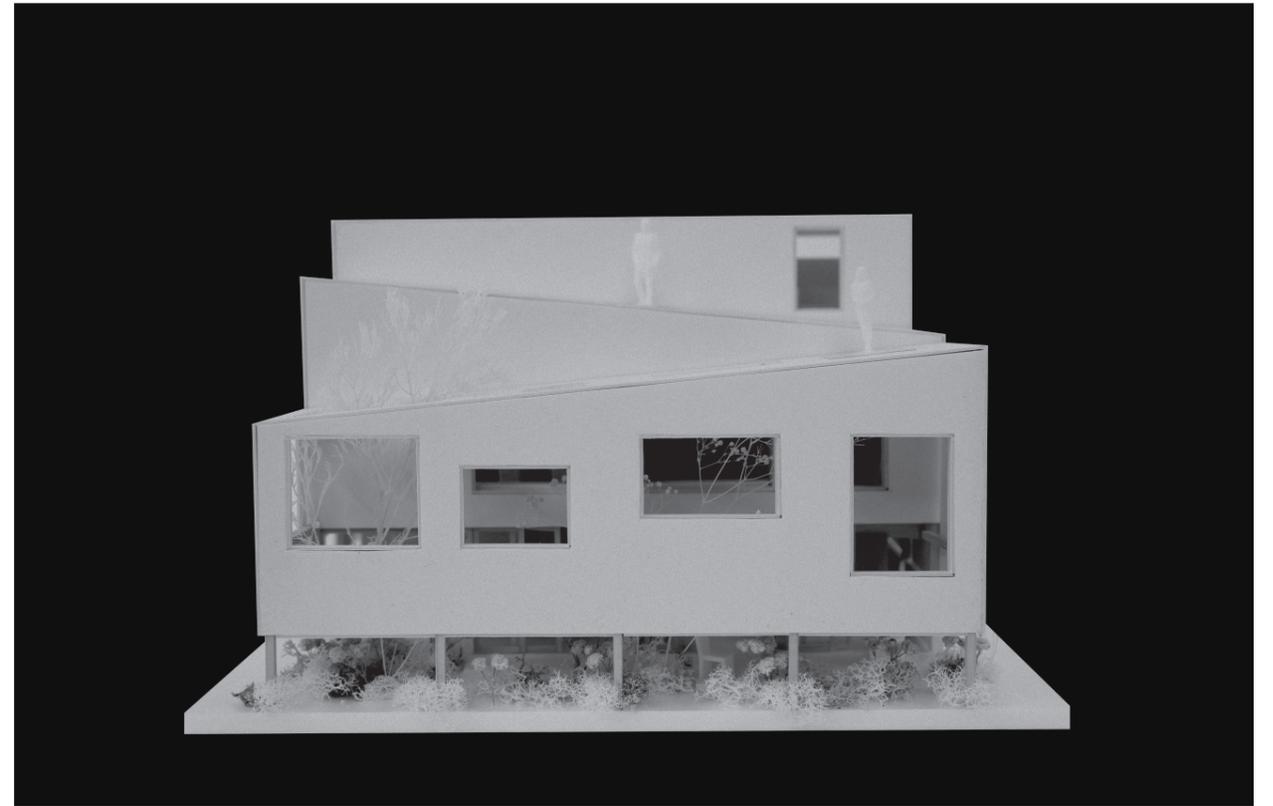


PHOTO 02

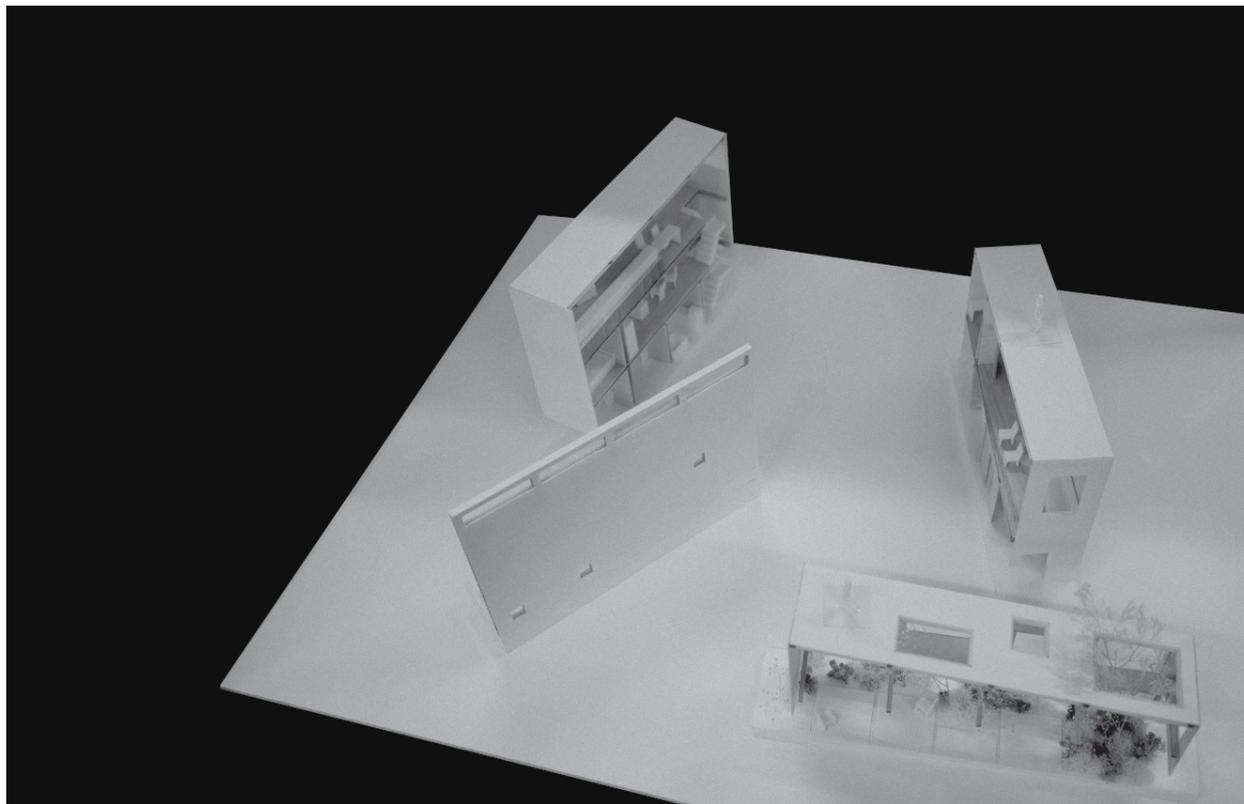


PHOTO 03

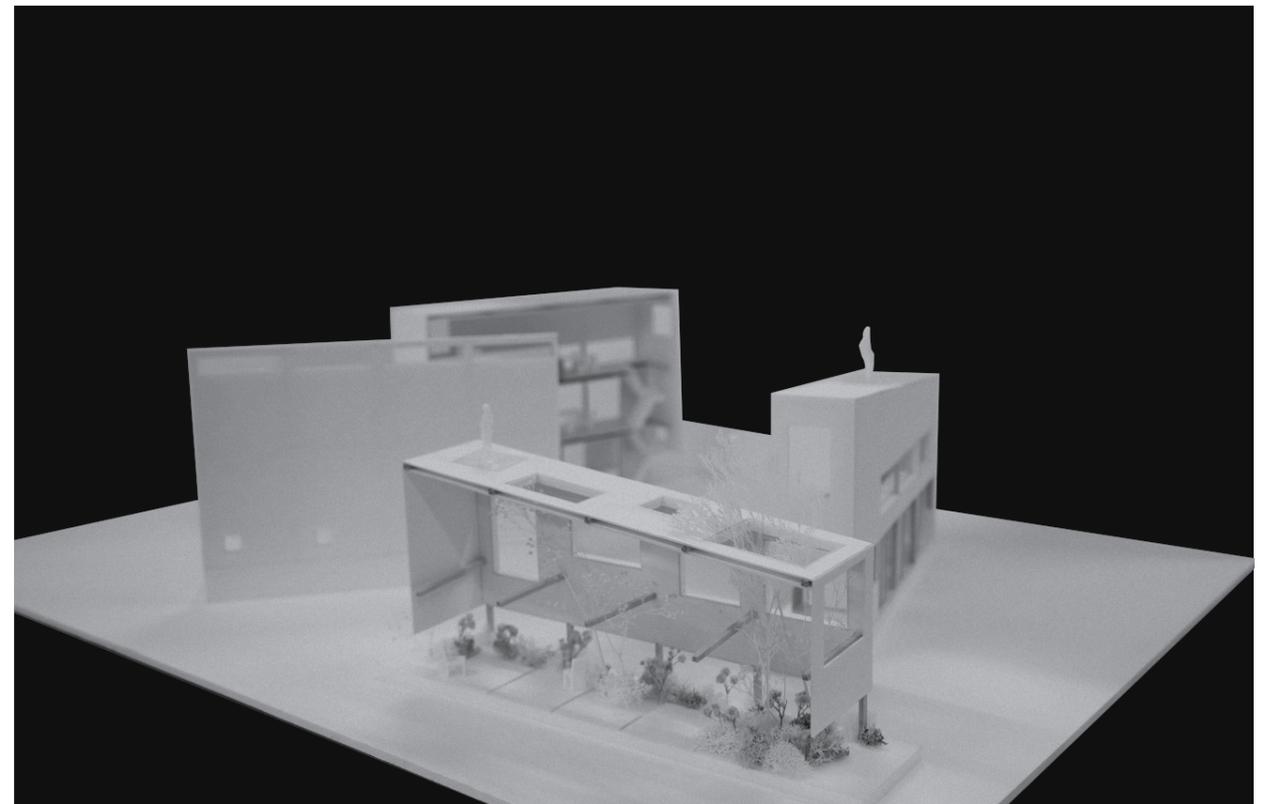


PHOTO 04